

日本の温泉専門家がハンガリー・チェコで「温泉文化」を発信

～豊かな温泉の歴史・文化をもつ両国で、温泉作家 山崎まゆみ氏が取材や現地専門家と意見交換
など、レクチャーも好評～

国際交流基金（JF）ブダペスト日本文化センターは、2026 年 9 月、「温泉」をテーマにした日本と中東欧との国際対話・交流事業を実施しました。

「温泉作家」として長年温泉の魅力発信に取り組む山崎まゆみさんを日本からお招きして、ハンガリーとチェコの温泉地を訪問。日本の「温泉文化」について発信するとともに、それぞれの国の温泉を取材し、現地の温泉専門家との意見交換・対話セッションを行いました。



日本の「温泉文化」への注目の高まりと発信の活発化

2025 年 11 月には、文化庁の文化審議会が、「温泉文化」をユネスコ無形文化遺産への日本の新規提案案件の一つとして選定しました。自治体や温泉関連団体、観光業界などが連携して、ユネスコ無形文化遺産登録に向けた取り組みを進めています。加えて、外国人観光客によるインバウンド需要の高まりも受けて、「温泉文化」を日本固有の文化として保護するとともに、日本文化を体験する場所としての海外への紹介も活発です。

本事業は、こうした関心の高まりを受けて企画しました。山崎まゆみさんの一般公開レクチャー等による文化発信をするとともに、同じく豊かな温泉の歴史・文化を持つハンガリーとチェコの温泉専門家との対話を深め、温泉関係者の国際的なネットワークの構築も目指しました。

ハンガリー訪問

今回の渡航では、まずハンガリーを訪問。ローマ時代の浴場遺跡が残るアクインクム遺跡や、19 世紀に文化人の社交場としても親しまれたルカーチ温泉、日本でも観光地として知られるセーチャーニ温泉等を視察し、ハンガリーにおける温泉の歴史と人々の暮らしとの関わりについて取材しました。その上で、ブダペストのセーチャーニ温泉でハンガリーの温泉専門家との一般公開セッションを開催し、日本の「温泉文化」について、「旅館」を切り口として紹介するとともに、ブダペストの温泉施設を運営する Budapest Spas の代表をはじめ、現地で温泉に携わる専門家や実務家との意見交換を行いました。

公開セッションの参加者からは、「興味深いテーマ設定だった」「日本の生活について勉強になった」「新しい情報を得た機会となった」というアンケートが多く寄せられました。また、ハンガリーの温泉と比べて日本の温泉は基本的に熱いことに現地の人々が驚き、その理由や日本の温泉に入る感覚が気になるという声もありました。

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 ブランド推進部 広報課（広報担当：熊倉、福島）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp

チェコ訪問

続いて訪問したチェコでは、古くから温泉保養地として知られるカルロヴィ・ヴァリの研究機関を訪問し、医療分野における温泉の活用について、専門家への取材や意見交換をしました。プラハでは、在チェコ日本国大使館広報文化センターを会場に、日本の「温泉文化」の魅力を紹介する一般公開レクチャーを開催しました。

事業を終えて

ブダペストとプラハで実施した両イベントは、満席の好評ぶり、質疑応答では日本の温泉に関する質問が活発に寄せられるなど、中東欧地域における関心の高さがうかがえました。このたびの一連の事業は、温泉を介した日本と中東欧地域との交流・対話を深める大きな一歩となりました。

山崎まゆみさんコメント

日本の「温泉文化」に関する講演も、現地の皆さんとのセッションも、非常に緊張してのスタートでした。ただ現地の参加者が目をキラキラとさせ、興味深げに話を聴き入ってくれる様子に、途中から私の言葉にも力が入り、思いや考えを伝えられる喜びが胸に広がりました。生まれ育った国も生活様式も異なる人たちと、共通の関心事「温泉」というテーマで互いを認め合い、心を共にできたことが忘れられません。そうして得たものは日本の皆さんにも共有し、「温泉」を介した中東欧との交流が始まるようにお手伝いをしたく思います。国際舞台で日本独自の「温泉文化」を伝える機会を頂いたことに、あらためて深く感謝を申し上げます。

記

事業名称： 温泉を通じた日本・中東欧専門家対話事業
主催： 国際交流基金（JF）ブダペスト日本文化センター
開催日程： 2026年9月23日（水）18時～20時（ブダペスト）
2026年9月25日（金）18時～20時（プラハ）
会場： セーチェーニ温泉（ブダペスト）
在チェコ共和国日本国大使館広報文化センター（プラハ）
共催： Budapest Spas（ブダペスト）
在チェコ共和国日本国大使館（プラハ）

招へい者について：

山崎まゆみ

温泉作家・跡見学園女子大学兼任講師（観光温泉学温泉文化論）
専門は「温泉文化」「宿泊業」「ユニバーサルツーリズム・ユニバーサルデザイン」現在 34 か国の温泉を訪問。海外に向けて、日本の温泉文化の発信に貢献しているとして 2008 年に国土交通省から YOKOSO！ JAPAN 大使（現・VISIT JAPAN 大使）に任命され、現在は内閣府「クールジャパン・アカデミアフォーラム」に参画し温泉文化について議論している。また内閣府「バリアフリー・ユニバーサルデザイン推進功労者表彰（内閣総理大臣賞を含む）」の選考委員。過去には内閣官房東京オリンピック・パラリンピック競技大会推進本部「ユニバーサルデザイン 2020 評価会議」、観光庁「ユニバーサルツーリズム促進事業」など観光庁や地方自治体の観光政策会議に有識者として多数歴任。河出文庫「ひとり温泉」シリーズが好評で、最新刊は第 4 弾の『ひとり温泉 おいしいプチ湯治』、他著書多数。現在、NHK ラジオ深夜便に出演中。



この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 ブランド推進部 広報課（広報担当：熊倉、福島）
Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044
E-mail: press@jpf.go.jp

主催者について：

独立行政法人国際交流基金 (The Japan Foundation)

国際交流基金は「日本の友人をふやし、世界との絆をはぐくむ。」をミッションに、「文化芸術交流」「日本語教育」「日本研究・国際対話」を通じて、世界各地との人的交流を促進し、相互理解と信頼関係の構築を通じて、より豊かな国際社会の実現を目指す独立行政法人です。

JF には、本部（東京）のほか、世界 25 か国 26 拠点と国内に 2 つの附属機関（日本語国際センター、関西国際センター）と 1 つの支部（京都）があります。

<https://www.jpff.go.jp/>



国際交流基金ブダペスト日本文化センター (The Japan Foundation, Budapest)

国際交流基金ブダペスト日本文化センターは、1991 年 に設立されました。ハンガリーをはじめ中東欧 13 か国を対象に、文化講演会やワークショップ等のイベントを年間を通して開催するほか、助成等を通じて様々な日本関連のプロジェクトを支援しています。このほか、オンラインを活用した日本語講座や研修会も行っています。中東欧地域における日本文化交流のハブとして、JF の掲げる「文化」「言語」「対話」の支援・発信・場づくりに取り組んでいます。

<https://japanalapitvany.hu/hu>

Budapest Spas cPlc.

Budapest Spas は、ブダペスト市が所有する温泉・浴場施設を運営する公営企業です。セーチャーニ温泉やルダシュ温泉を始め、ブダペスト市内における代表的な温泉施設 11 か所の運営管理を担っています。さらに、近年の観光資源としての温泉需要の高まりを受けて、多言語サービスや国際プロモーションといった取り組みを行うとともに、ゼンメルヴァイス大学などハンガリー国内の研究機関とも連携して、関節炎などに対する温泉の医学的効果の研究や、温泉浴を活用したリハビリテーション治療の提供等も行っています。



以上

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 ブランド推進部 広報課（広報担当：熊倉、福島）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpff.go.jp